

全国発信記事 ▲▽▲▽ 小名浜支部 ― 学校を統合し船員を育む ―

福島県立小名浜海星高等学校を訪問！

齋藤裕昭校長先生にインタビュー

海と丘2つの校舎で生まれる新しい学び

昨年の4月1日に福島県立いわき海星高等学校と福島県立小名浜高等学校の両校が統合し、新たに開校した福島県立小名浜海星高等学校。今年は6学科5クラスに184人が入学した。また専攻科は従来通り専攻科海洋科・専攻科無線通信科・専攻科機関科があり、今年はそれぞれ9人、10人、9人の計28人が専攻科に進んだ。新たな学校として船員を育み1年が経過した小名浜海星高校に、本組合の奈良章小名浜支部長が訪問し、齋藤裕昭校長先生にお話を伺った

福島県立いわき海星高等学校+福島県立小名浜高等学校⇒福島県立小名浜海星高等学校

■2つの学校が統合してのメリットを教えてください

- ・いわき市の小名浜地区の2校が1つになったことで、この小名浜地区唯一の高校となり、地域との結びつきも強くなりました。その影響と思われますが、生徒たちも小名浜のためにという考えが芽生えてきているようです。
- ・生徒数が増えたこと。また、3つの体育館、2つのグラウンドを有することとなり、部活動の活性化が見込まれています。
- ・学校の授業において、普通科と商業科、そして水産科の異なる学科が連携することで、6次産業化への取り組みなど、新しく今まで以上のことができる可能性が増えました。

■山手側の本校舎と海辺側にある水産校舎ですが、授業で2つの校舎を往来するのは大変と思いますが

- ・2つの校舎の活用は未だ難しい部分はありますが、徐々に学校生活になじんでいくと思います。また、学校統合の立地的な面では、災害時の避難場所が確保しやすくなりました。

―ルーチンワーク的な部分―

- ①学校行事や定期考査は本校舎で実施
- ②普通科教員は、授業のたびに校舎間を移動することがある
- ③水産科の生徒のみ、校舎間の移動がある
- ④部活動の種目によっては、放課後の生徒移動があります

■普通科、商業科、水産科（海洋科・情報通信科・食品システム科・海洋工学科）の中で、在校中に違う学科に編入することは可能ですか。

- ・海洋科と海洋工学科は、国土交通省の登録船舶職員養成施設となっており、1年次からそれに基づいた教育課程となっており、編入などは認められません。ただし、普通科や商業科を卒業した生徒でも、専攻科無線通信科への入学は可能です。

この後も、船員を育む観点で意見交換を行い、最後に奈良支部長から「船員を養成する小名浜海星高校が発展するよう、これからもお手伝いをしていきたい。本日はありがとうございました」と感謝を伝えるとともに、「マジで航海してます。」のDVDを記念贈呈した。

「海員だより」